

# 鹿児島茶丸ペパクラ組立説明書



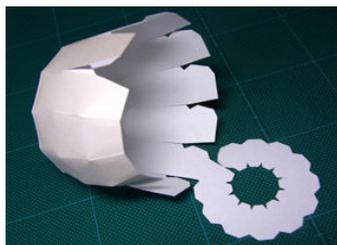
1 接着には木工ボンドがおすすめです。耳、まげ、お茶の葉、右指は図のように大きめに切り取り、点線に沿ってカッターですじを入れ、折り曲げます。



2 裏にボンドをつけて貼り合わせ、乾いたら切り抜きます。



3 頭頂部から下に向かって頭を組み立てます。耳やまげを差し込む切れ込みも忘れずに切っておきます。



4 接着部分にすき間がある場合は、この段階で直しておきます。すき間にボンドをつけるには、紙の切れ端やつまようじなどを使うとうまくゆきます。



5 胴を組み立てます。曲面が多いので、丸い棒などで図のように丸みをつけておくと組み立てやすくなります。



6 胴の上半分と下半分を組み立て、最後に中央部分を接着します。



7 袖を作ります。図のように輪をつくり、だ円形になるようにします。差込部分は折りぐせをつけて内側にボンドをつけます。



8 袖を胴に差し込み、胴の内側で接着します。差込口が小さいときは、カッターの刃を差し込んで調整します。



9 前掛けを上帯の縁に沿って接着します。胴に沿って丸みをつけておくとよく接着できます。



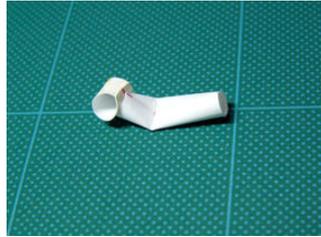
10 右手は、図のように丸みをつけて人差し指を立てるように組み立てます。腕はつまようじなどで丸めるとうまく組み立てることができます。赤い線の位置にあわせて手と腕を接着します。



16 たすきを左手に通します。



11 左手と腕も赤い線の位置にあわせて接着します。左腕は、腕の線に沿って折り曲げます。切れない程度にカッターの刃などを押し当てて折るとうまくいきます。



17 左肩から背中に回して、右袖下から右手に通します。



12 首ののりしろにボンドを3~4か所つけ、えりの中心とあごの線を目安にして頭を胴に接着します。右腕は図のようにその上部に指の角度を調整しながら接着します。



18 背中は図のようになります。たすきの長さを調整して、背中で接着します。



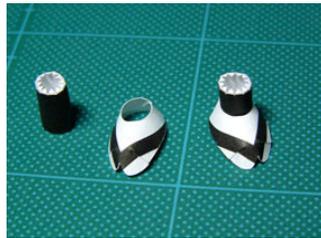
13 左腕は図のように手が上帯の位置に来るようにして、手と腕の裏側、腕の付け根部分に接着剤をつけ、接着します。



19 かごを組み立てます。かごは下から順に組み立て、最後に上からふたをするように接着するとうまくいきます。



14 足を組み立てます。足首を差し込み、床に着くまで上から押し込みます。



20 はじめに作ったお茶の葉ののりしろにボンドを少しつけ、かごの差込口にさしてゆきます。



15 台を図のように組み立てて、足位置のマークを目安に足を接着します。親指の方が出っ張っていますので、足の左右は親指の位置で判別してください。



21 かごの横にあるマークにボンドをつけ、胴に接着します。完成図のように、少し斜めになるように接着します。最後に、葉っぱと同じようにまげと耳をつけて完成です。

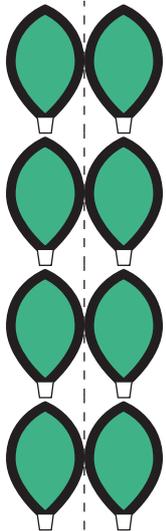




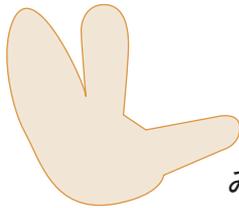
(社)鹿児島県茶生産協会 マスコットキャラクター

# 鹿児島茶丸 ペーパークラフト

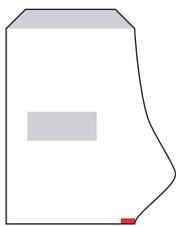
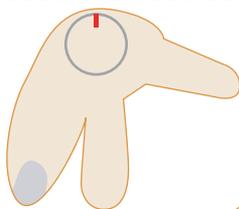
たすき



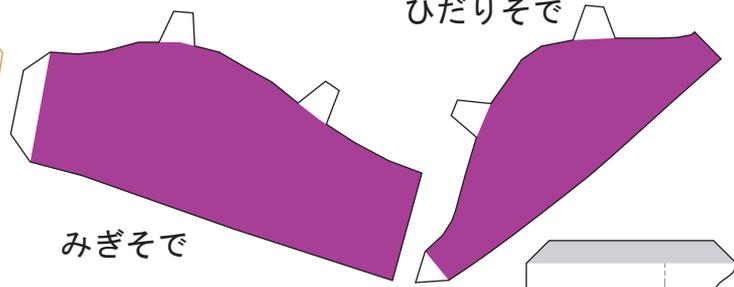
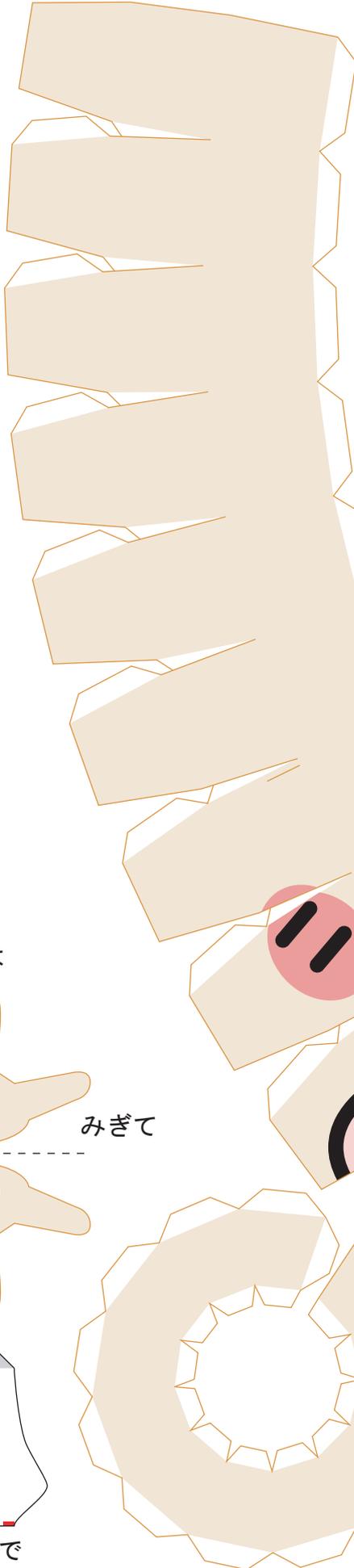
おちゃのは



みぎて

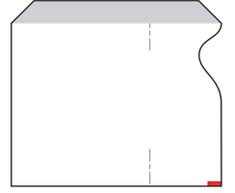


みぎうで



ひだりそで

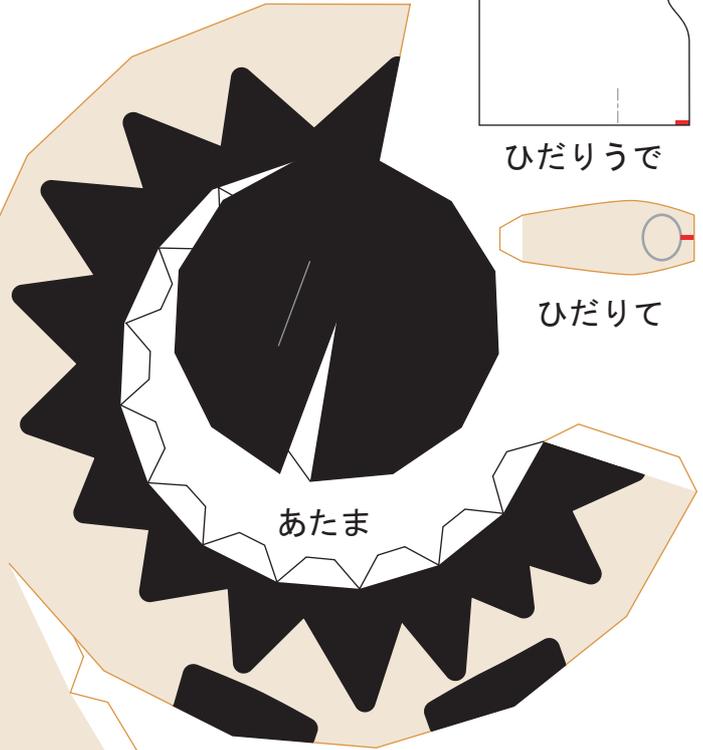
みぎそで



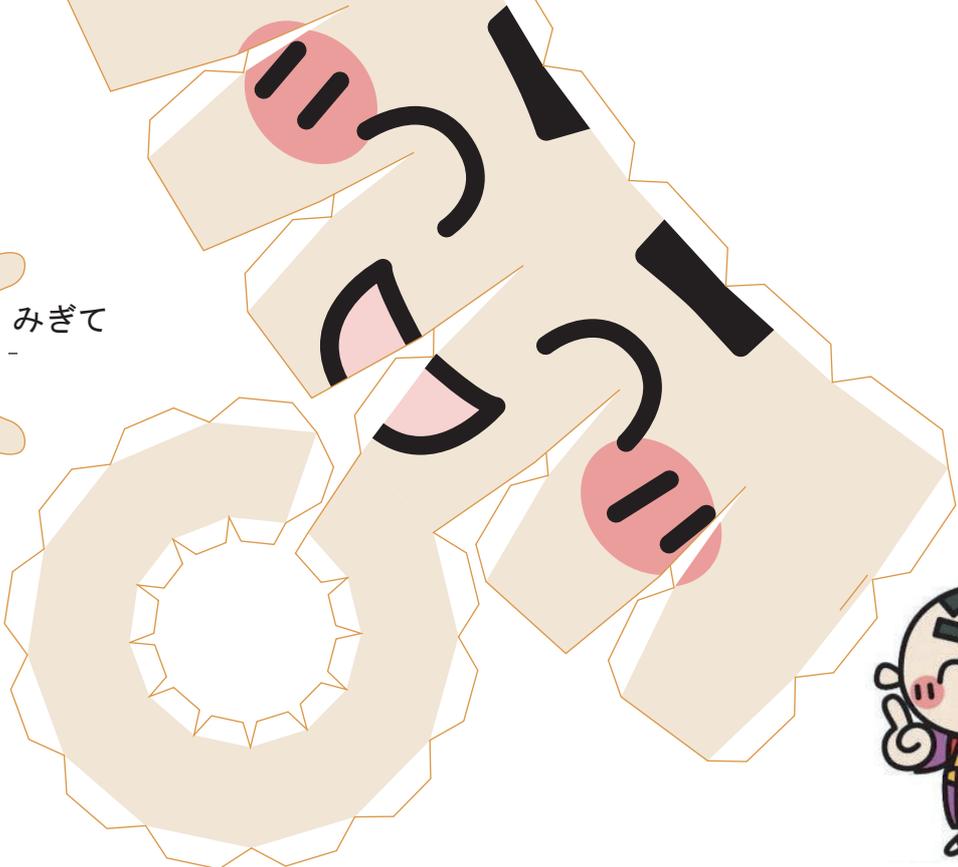
ひだりうで



ひだりて



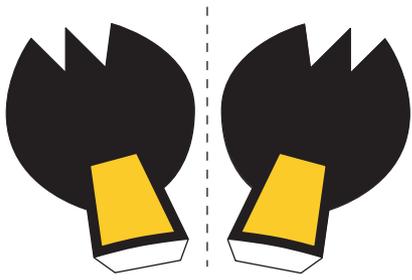
あたま



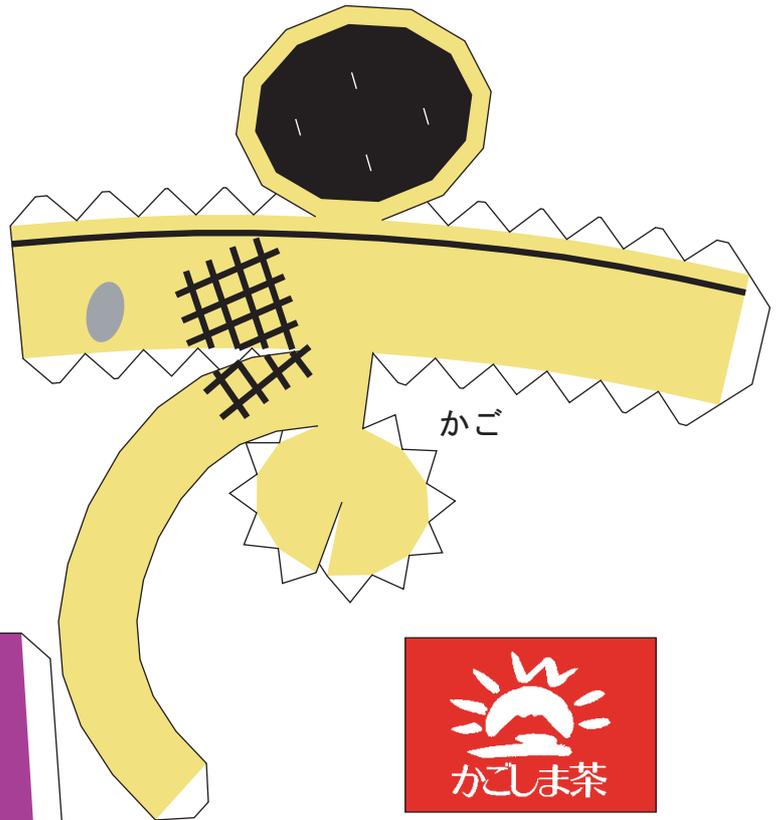


(社)鹿児島県茶生産協会 マスコットキャラクター

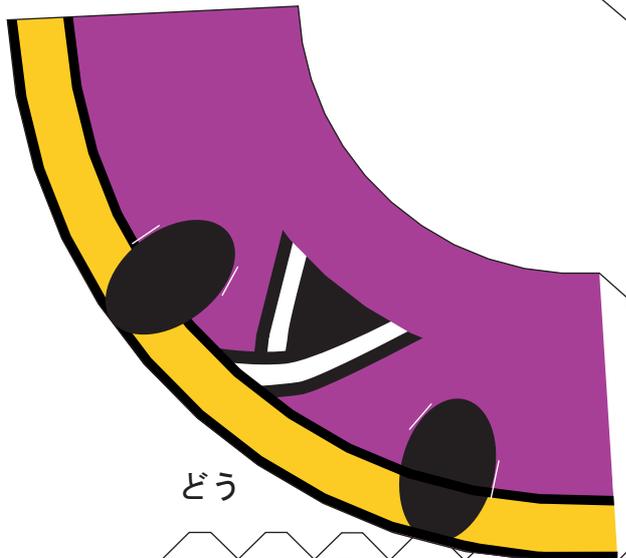
# 鹿児島茶丸 ペーパークラフト



まげ



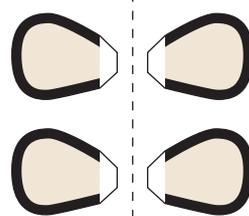
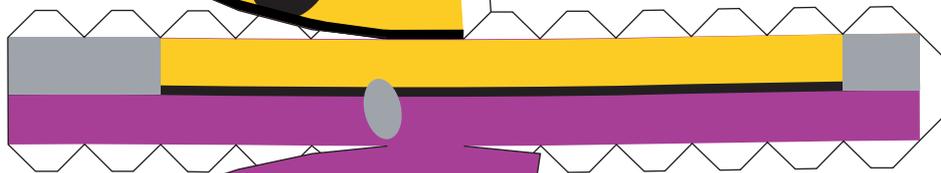
かご



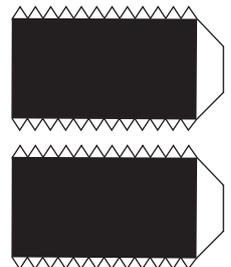
どう



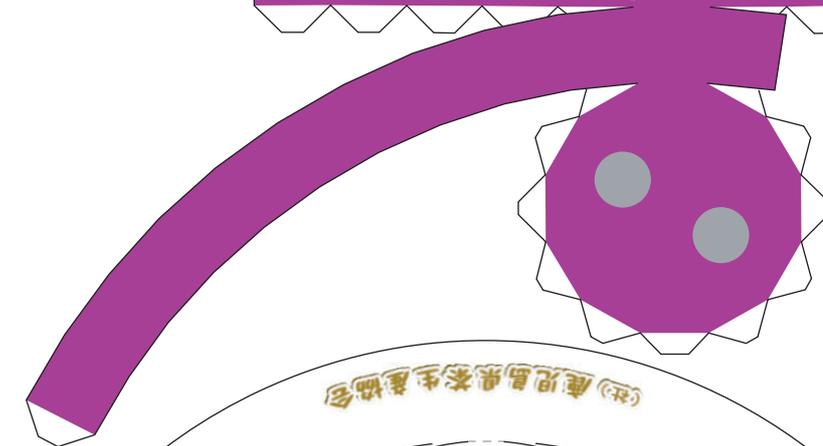
まえかけ



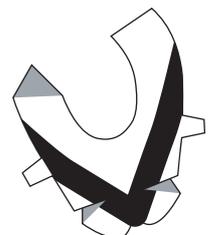
みみ



あし



みぎあし



ひだりあし



だい

- ・接着は木工ボンドがおすすめです
- ・実線(——)は、はさみで切る
- ・破線(----)は、山折り
- ・一点鎖線(- - - -)は、谷折り
- ・■は、位置を合わせて接着